

○現状の取組状況の共有

①避難:円滑かつ迅速な避難のための取組

項目	重嶋市	甲斐市	南アルプス市	昭和町	中央市	市川三郷町	富士川町	甲州市	山梨市	笛吹市
	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難勧告の発令に備えたチェックリスト・タイムラインを活用した訓練・見直し及び支援 【更新】 チェックリスト・タイムラインの更新 【訓練】 総合防災訓練を実施	【更新】 チェックリスト・タイムラインの更新 【訓練】 タイムライン図上訓練に参加	【更新】 チェックリスト・タイムラインの更新 【訓練】 タイムライン図上訓練に参加	【見直し】 H28.12月にタイムライン見直し案を幹部職員を対象に検討 【訓練】 関係機関と連携した出水時における情報伝達演習を実施	【更新】 順次実施 【訓練】 関係機関と連携した出水時における情報伝達演習を実施	【更新】 チェックリスト・タイムラインの更新 【訓練】 タイムライン図上訓練に参加	【更新】 チェックリスト・タイムラインの更新 【訓練】 タイムライン図上訓練に参加	【更新】 チェックリスト・タイムラインの更新	【更新】 チェックリスト・タイムラインの更新	順次実施 ・平成29年度タイムライン図上訓練に参加し、見直しを実施
	・避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認(タイムライン)	引き続き実施	引き続き実施	引き続き実施	・多機関タイムライン検討会へ参加予定 ・引き続き実施	引き続き実施	・避難勧告等発令の対象区域検討	・取組実施予定	・参加予定 ・避難勧告等発令の対象区域、判断基準の見直しに着手	・本年度は未実施 ・多機関タイムライン検討会への参加、避難勧告の発令対象区域、判断基準の見直しについて未実施。
	・ハザードマップの改良、周知、活用	・順次地区長様へ周知説明会実施中 ・家庭世帯等に浸想定区域の情報を追加し、広報やHPで周知した。	・要請により、洪水ハザードマップを用いた防災講習会の開催。 ・現行洪水ハザードマップに併せて、市HPに図及びリンクを表示し浸水想定区域を周知。	・地区防災計画の策定に取り組んでいる地区に対し、活用を促す説明を行う。 ・引き続き実施	・町HPのトップページからハザードマップへ容易にアクセスできるようにした。SNSでの周知を行う。 ・引き続き実施	・HP等により水害及び土砂災害のリスクを考慮したハザードマップの周知	・引き続きSNSによる周知を実施	・ハザードマップを活用した説明会を町内13区で実施	・市HP等により周知済み ・引き続き周知を実施	・SNS・HP等による住民へのハザードマップの周知 ・R2.7月に県管理河川の浸水想定区域を追加更新 ・対象地域に全戸配布。
	・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進	・マイタイムラインはハザードマップ配布に合わせて周知 ・マイタイムラインを広報掲載により周知し、作成用データ(Word)をHPへ掲載した。	・マイタイムラインについて周知・啓発を行う。 ・甲斐市地域防災リーダーを通じて、防災マップ作成を促進する。	引き続き実施	・マイ・タイムライン作成担当者研修へ参加、事例収集 ・町長向け防災マニュアルでマイタイムラインを紹介	・タイムラインの作成に関して事例を収集	・ガイドブック作成 ・引き続き講座等実施	・取組実施予定	・収集作業、作成支援 ・引き続き実施	・HP等による避難所情報の提供 ・市HPにマイ・タイムライン作成促進の記事を作成。
逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等	・地域減災ハザードマップ作成事業の実施	・各地区で減災マップ作成	・地域防災リーダー養成講習を実施予定 甲斐市地域防災リーダー養成講習のカリキュラムの中で、自主防災マップ作成を実施	・防災リーダー80名を対象に防災マップ等の作成のための研修会を実施 ・順次実施	・平成30年9月作成開始 ・防災リーダー養成講習において防災マップ作成講習を実施 ・引き続き実施	・防災マップ作成事業順次実施 ・H30年度も防災マップ作成講習順次実施 (平成29年度より中央市防災リーダー養成講習時実施) ・防災リーダー養成講習において防災マップ作成講習を実施	・洪水ハザードマップ見直し後、実施検討 ・地域減災ハザードマップ作成事業の実施を検討	・各地区に防災マップ作成の周知を図る ・町内の13区で地区防災計画策定に向けた説明会を実施	・平成28年度に避難地を見直ししたハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・平成31年度(令和元年度)に県において洪水水想定区域の見直しが行われ、区域内になったため既存の土砂災害ハザードマップと併せて作成 ・ハザードマップ完成、市内全戸配布、周知済み	【実施済み】 ・H31.5月作成完了。対象地域に全戸配布。 ・R2.7月に県管理河川の浸水想定区域を追加更新。 ・対象地域に全戸配布。
	・災害リスクの現地表示	・設置場所等を検討し、次年度設置に向けた予算確保を行った。	・実施検討	順次実施	・まるごとまちごとハザードマップの作成事例を収集 ・引き続き実施	・想定浸水深看板を10ヶ所設置 ・まるごとまちごとハザードマップの作成の検討	・取組実施予定 ・令和34年度ハザードマップ見直しのため保留	・引き続き検討を実施	・まるごとまちごとハザードマップの作成、設置事例の収集、設置検討	・まるごとまちごとハザードマップの資料収集、検討を実施。
	・広域避難に関する調整、避難経路の検討及び支援	・県主催による広域避難検討会に参加し、知識を深め検討を行った。	・水害時における緊急避難場所の選定完了 ・令和3年度広域避難計画作成予定	・順次実施	・本町では広域避難が必要な地区はないが、隣接市から調整依頼が来るかもしれない ・中央市、甲府河川国道事務所、山梨県と広域避難に関する勉強会を実施 ・中央市と広域避難について協議 ・広域避難計画検討会へ参加	・当協議会の中で、近隣市町村と広域避難に関する協定を進め、H30・H31年度作成予定の洪水ハザードマップに反映させる。 ・甲府河川国道事務所、山梨県、昭和町と広域避難に関する勉強会を実施 ・昭和町と広域避難について調整 ・広域避難先として、山梨市と協定を締結	(H30～31実施) ・洪水ハザードマップ作成に伴い町内の浸水想定を確認 ・避難計画・避難経路を検討	・平成29年度以降順次検討を開始 ・県主催の会議に参加 ・順次広域避難検討を開始	・検討に着手 ・引き続き検討を実施	・広域避難について中央市等と検討・調整
・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	【一部実施済み】 ・対象となる要配慮者利用施設⇒避難計画 作成済み ・および浸水想定区域図の公表待 ・山梨県治水課と連携して周知した。 ・未作成施設へ所管部署から作成依頼通知を发出し、作成を促した。	・平成30年5月に甲府河国主催の洪水対応伝達演習に参加 ・要配慮施設での避難訓練参加 ・避難確保計画作成及び訓練実施促進	・想定最大規模の雨量による浸水想定区域内の要配慮者施設の抽出を行う ・地域防災計画に記載されている対象施設に対し、計画策定の促進を実施 ・引き続き実施	・避難計画の作成及び訓練実施の促進 ・引き続き実施	・要配慮者利用施設の研修会参加 ・避難計画の指導・助言の実施 ・洪水ハザードマップの見直しにあわせ、避難計画の作成及び訓練の促進を行う。 ・避難計画の作成及び訓練実施の促進 ・未提出の施設に対し、引き続き、避難確保計画の提出を依頼していく。	・説明会等の開催	H29年度以降順次実施 ・対象となる要配慮者利用施設⇒避難計画 作成済み ・ハザードマップの見直し後、作成 ・順次作成予定 ・作成依頼通知の送付完了。一部の団体は提出済み	・庁内機関にて引き続き検討を実施	【実施済み】 ・福祉担当部局から各施設⇒避難計画の作成・避難訓練の実施を呼びかけている ・避難計画…23件中9件作成済み(平成30年2月現在) ・R1.6の土砂災害訓練において、要配慮者施設と連携しての訓練を実施 ・R2.11に避難確保計画作成の研修会を実施 ・要配慮者利用施設に対して、避難計画作成促進のための通知送付。	
・「富士川水系情報提供システム」による河川情報の提供										
・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断に資する富士川水系情報提供システム表示の整備										
・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改良										
・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理	・広報やチラシを回覧、HPでの周知を実施。 ・次年出水期から変更になる避難情報等の確認を行った。	・広報誌や自治会役員への説明のほか、訓練などに際し周知実施。	・各種講習会等で住民へ周知 ・順次実施	・警戒レベルに関するチラシを配布した ・引き続き実施	・警戒レベルに関して住民へHPで周知 ・引き続き実施	防災講座で周知	・HPやチラシにより住民に周知	・HP・広報・ハザードマップ等により周知済み	・警戒レベルに関してHP・チラシ等により住民へ周知	・警戒レベル表記について、災害時の避難方法を記した冊子で周知。
・PCスマートフォン等で河川画像を配信、SNSを利用した防災・気象情報の配信	【実施済み】 ・防災行政無線更新に合わせて、防災情報配信の多量化を図る。「平成30年3月31日実施設計完了予定」情報配信ソース：防災アプリ、Twitter、Facebook、市HP等 ・J-ALERTと連携させ、緊急情報の配信を可能にした。 ・防災アプリ、メールマガジン登録者の増加に向けた出張説明を実施した。	・富士川水系情報システムによる情報収集。市HPへのリンクを検討。 ・HPへの情報掲載と連動してTwitterへの情報発信を推進済み ・避難情報及び避難所開設についてSNSによる情報配信体制整備済み	・市内CATV4社及びスマートフォンを活用した防災・気象情報の配信の実施 ・順次実施	・SNSを活用した防災情報の配信 ・引き続き実施	【整備済み】 引き続き実施 ・各種システムを活用した情報収集 ・SNSを活用した防災情報の配信 ・引き続き情報発信を実施	【実施済み】 富士川水系情報提供システムによる情報収集をした。 ・町ホームページに、防災・気象情報を掲載するとともに、関係機関の情報へのリンクを掲載 ・引き続き、PC、スマートフォン等による情報配信の検討 ・情報配信等実施	【実施済み】 富士川水系情報提供システム等による情報収集を実施	・市HP、防災行政無線を活用し、配信済み	・市HP等を通じ情報発信中	・引き続き実施 ・防災行政システム、笛吹市防災無線メールによる情報提供 ・DOUS防災情報システムの導入決定(平成31年度出水期前の導入を予定) ・職員間の情報共有システムの導入完了 ・災害時の情報発信にも活用できるツールとして、市公式LINEアカウントの開設、Yahooとの災害協定締結による、アプリの利用環境整備を実施。
・ICT等を活用した洪水情報の提供	・警報発令時の専用ページ内で周知を実施。 ・市公式ホームページの入れ替えにより、気象警報発表時の軽重版ページの掲載内容を全面的に見直した。	・市HPにリンクを表示するなど、避難の判断に資する情報を提供する。 ・情報提供システムの住民への周知	引き続き実施	・情報提供システムの住民への周知 ・引き続き実施	・情報提供システムで住民への周知を実施 ・引き続き実施	・防災講座で周知	・取組実施予定 ・防災行政無線の内容をLINEでも通知	・市HP、ハザードマップにより周知済み	・情報提供システムの住民への周知 HP上やメール配信による防災・気象情報の提供	・市公式のtwitter、facebookを活用した、災害情報の提供を実施 ・災害時の情報発信にも活用できるツールとして、市公式LINEアカウントの開設、Yahooとの災害協定締結による、アプリの利用環境整備を実施。
・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	・国、県主催の会議に出席し情報を得た。 ・警戒レベルと併せて河川情報を周知	・市HPにリンクを表示するなど、避難の判断に資する情報を提供する。 ・情報提供システムの住民への周知	引き続き実施	・多機関タイムライン検討会へ参加 ・引き続き実施	・多機関タイムライン検討会へ参加予定 ・水害の切迫性が効果的に伝わる解説の検討	・防災講座で周知	・ハザードマップを活用した説明会を町内13区で実施	・参加予定 ・引き続き実施	・住民にわかりやすく効果的に伝達できる周知内容(文案等)の検討	・未実施
・洪水予測や水位情報の提供の強化	・警報発令時の専用ページ内で周知を実施。 ・ホームページリンクを掲載している。	・市HPにリンクを表示するなど、避難の判断に資する情報を提供する。 ・情報提供システムの住民への周知	引き続き実施	・情報提供システムの住民への周知 ・引き続き実施	・水害リスクラインで提供される情報の把握 ・情報提供システムを住民へ周知	・防災講座で周知	・ハザードマップを活用した説明会を町内13区で実施	・市HP、ハザードマップにより周知済み	・情報提供システムの住民への周知 HP上やメール配信による防災・気象情報の提供	・河川情報HP等の周知を実施 ・「富士川水系情報提供システム」の周知チラシの掲示。
・洪水予報文の改良										

①避難: 円滑かつ迅速な避難のための取組											
項目	重岡市	甲斐市	南アルプス市	昭和町	中央市	市川三郷町	富士川町	甲州市	山梨市	笛吹市	
セミナー・防災教育・訓練・計画策定等	・小中学生等を対象とした水災害教育の実施 ・出前講座を活用した講習会の実施	【一部実施済み】 ・H28年11月20日に指定避難所となっている小学校で行われた総合防災訓練の中で減災研修を実施。 ・出前塾及び特定地区防災訓練内で講演会の実施。	・小中学校への防災教育の実施 ・市内中学校郷土教育研修会(教職員対象)で防災研修を実施	・引き続き実施(御牧使川の治水の歴史) ・源小学校において防災教育を実施	・平成29年度中、学校・自治会・ふれあいサロン等で避難所運営訓練、防災講話を実施 延べ33回 ・教育委員会と調整し、小中学生を対象とした防災研修会や出前講座の実施を検討 ・出前講座の実施 ・小学生を対象に調整池に関する機能の学習会を実施	【新規】 ・市内3小中学校を対象に「平成29年度実践的防災教育事業」を実施。 【今期のめい】 ・教育委員会と調整し、小中学生を対象とした防災研修会や出前講座の実施を検討 ・小中学校の児童を対象に防災教育等を実施	【実施済み】 ・総合防災訓練説明会及び出前講座を開催した。	【実施済み】 ・小学校において水災害教育を実施した。 ・昭和34年災害現地学習会を実施	・防災の日に市内各小中学校で防災訓練を実施 ・引き続き実施 ・地区での出前講座を実施	・出前講座の一環として地域・学校へ市防災アドバイザーを派遣	・平成28年度は防災に関する出前講座を10件実施 ・防災訓練の説明会を区単位で実施。実施件数は30件。 ・小学校・高校・地域などへ前講座実施 ・小中学校社会科副教材の防災関連部分の監修に協力。
	・防災教育の促進	・ハザードマップ配布に合わせて周知予定 ・要配慮者利用施設のなかで対象であるが未定定の施設へ作成依頼通知を発送し、促した。	・甲斐市地域防災リーダー養成講習及び公民館における防災研修への講師派遣	引き続き実施	・要配慮者利用施設避難確保計画の情報提供 ・町向け防災マニュアルを作成 令和3年度全戸配布	・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援 ・要配慮者利用施設避難確保計画の情報提供	・未実施	・ハザードマップを活用した説明会を町内13区で実施	・庁内機関にて検討中 ・避難確保計画は作成済み ・今後避難訓練を継続的に実施	・各区出前講座における防災アドバイザーの派遣	・R21 要配慮者施設への避難確保計画作成支援研修の実施 ・災害時の避難方法をまとめた冊子を作成し、全戸に配布 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進にむけた通知の送付。
	・避難訓練への地域住民の参加促進	・総合防災訓練を実施し、規模縮小した場合でも家庭でできることを周知した。	引き続き実施 浸水想定避難訓練の検討	引き続き、参加促進の強化に努める	・垂直避難又は近隣の2階以上への避難を啓発 ・引き続き実施	・住民参加型の避難訓練、避難場所への避難訓練の実施 ・総合防災訓練や地区防災計画に基づいた訓練を実施	・住民参加型の総合防災訓練実施	・取組実施予定	・自主防災組織による避難訓練を引き続き実施	・住民参加型の避難訓練の実施・継続 ・防災講習会を実施	・未実施
・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	【一部実施済み】 ・1階への土留の設置、人員配置等の浸水対策訓練をH28年9月4日に総合防災訓練の中で実施 ・防災無線システムを土留階へ移設したことで、情報伝達の機能を確保した ・災害対策本部運営訓練において、防災アプリやZoomによる伝達訓練を実施。	・庁舎電気機械室への流入防止のための防壁及び板の設置を実施済 ・庁舎への浸水を防止するため、職員による土の作り訓練を実施	・庁内における水防配置及び動員計画の見直し(H28年4月に実施) ・平成30年1月に庁舎の大規模改修工事に着手(非常用電源設備について本庁舎屋上に設置予定) ・非常用電源設備について本庁舎屋上に設置し、情報伝達等の機能を確保した ・済み	・自家発電機浸水防止壁について予定延長35m完了 ・平成29年度に庁舎への流入止水板整備済み ・本庁舎以外の施設での対策を検討 ・引き続き本庁舎以外の施設での対策を検討	・庁舎増築に伴う備蓄スペースの設計・調整に着手 ・平成31年4月完成予定の庁舎増築に伴い、洪水に対する機能確保の検討を行った。 ・増設庁舎に災害対策室を設置、情報収集がスムーズに行えるよう設備を備える。また自家発電機上へ設置し水害時も電力供給が行えるようにする。 ・洪水時の行動・伝達について検討	・三珠分庁舎の耐震診断実施	【実施済み】 ・平成30年2月に浸水想定区域内の行政機能(防災行政無線設備)を移転したことにより、情報伝達機能の確保を図った	【実施済み】 ・平成30年2月に浸水想定区域内の行政機能(防災行政無線設備)を移転したことにより、情報伝達機能の確保を図った	【実施前】 (H32～実施) ・市庁舎間の情報連携体制の整備実施。 ・医療機関等の関係機関との情報連携方法を検討。今年度未実施	【実施前】 ・市庁舎間の情報連携体制の整備実施。 ・医療機関等の関係機関との情報連携方法を検討。今年度未実施	

②水防: 的確な水防活動のための取組											
項目	重岡市	甲斐市	南アルプス市	昭和町	中央市	市川三郷町	富士川町	甲州市	山梨市	笛吹市	
点検強化	【整備済み】 引き続き実施 ・配備完了(不足が生じれば速やかに補充)	引き続き実施 平成29年度3月【配備完了(不足が生じれば速やかに補充)】 ・不足・必要資機材等の整備	引き続き実施	・河川管理者と連携強化 引き続き実施	・消防団と連携を図り、整備計画を図る。 土壌の補充	【実施済み】 引き続き実施する ・配備完了(不足が生じれば速やかに補充) ・水防資機材不足分補充	【実施済み】 ・土のう砂等を購入し水防倉庫に配備 平成28年9月【配備完了】 ・土のう砂、土のう用砂に不足が生じれば速やかに補充		・資材の配布を5月中に実施 ・配備完了(不足が生じれば速やかに補充)	【整備済み】 引き続き実施 ・水防資機材の備蓄・配備を実施。	
体制確保	・水防活動の担い手となる水防団(消防団)員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	【実施済み】 引き続き実施 ・消防(水防)団新聞を作成し全戸配布を29年12月に実施。 ・年間を通して、HP・広報を利用し募集している。 ・団員報酬を上げた。	・消防団員確保の活動の一環として、平成26年より「甲斐市消防団フェスタ」を実施し、普及啓発を行っている。 ・消防団員サポート事業を実施【平成29年10月～】。	・水防団員(消防団員)確保あり方検討会の実施(H28年4月実施) ・平成30年4月より機能別消防団員制度の導入 ・消防団員の確保の推進 ・引き続き実施	・4月以降担当職員を対象に実施 ・水門の位置、操作法を毎年出水期前に農政担当・市川担当で確認 ・引き続き実施	【実施済み】引き続き実施 ・市ホームページ等で、消防団サポート事業のチラシを周知。 ・消防団活動協力員、フォローアップ後の増加なし	【実施済み】 引き続き実施 ・消防団活動協力員制度を導入し、協力員を確保した。 ・消防団活動協力員、フォローアップ後の増加なし	【実施済み】 引き続き実施 ・平成30年1月に、広報等にて消防団員サポート事業のサポート店を募集 ・引き続き募集【広報】	・各地区の消防団幹部が、個別に住民宅を訪問し、勧誘を行っている。 ・引き続き実施	・各消防団の役員が個別に連絡期の住民の家を訪問し、勧誘を行っている。 ・広報に募集の掲載を行っている	・市役所職員による女性消防団の立上げ実施 ・消防団(水防団)加入促進PRビデオ作成、消防団加入ポスター作成、消防団員サポート店導入 ・団員サポート店の拡充 ・消防団(水防団)サポート事業の拡充。
・水防関係者間での連携、協力に関する検討	・河川管理者やダム管理者と連携した訓練に参加	・順次検討	引き続き実施	引き続き実施	・出水期における水防活動等について水防関係者間との役割分担等の確認を実施 ・河川管理者との連携強化	・出水期における水防活動等について水防関係者間で振り返りを実施	・出水期における水防活動等について水防関係者間で振り返りを実施	・今後取組実施予定	・R2年5月に水防協議会を実施 ・審議会により水防協議会を実施	・関係機関とホットライン等の確認実施 ・関係機関とのホットライン訓練及び情報伝達訓練の実施。	

③排水: 氾濫水の排水、浸水被害軽減等に関する取組											
項目	重岡市	甲斐市	南アルプス市	昭和町	中央市	市川三郷町	富士川町	甲州市	山梨市	笛吹市	
実践強化	・排水機場、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	【実施済み】 引き続き実施 総合防災訓練内で、水門等操作担当者である地区自治会にて実施	・毎年4月に実施 ・建設部職員により、「職員水防配置及び動員計画」に基づき、各河川の排水機場の操作講習会を実施 ・引き続き、各河川の排水機場の操作講習会を実施する	・地区消防団で1～2月毎に訓練を実施 ・消防団によるポンプ操作訓練の実施 ・引き続き実施	30年6月国土交通省の講習会に参加平成31年度 参加継続して参加予定引き続き実施	【実施済み】国・県と連携し、引き続き実施 ・ウェブカメラの情報を共有し排水ポンプの始動タイミングの適正化。	【実施済み】 引き続き実施する ・排水機場・樋門・水門等の操作情報を共有した	【実施済み】 引き続き実施する ・排水機場操作訓練を実施			・排水機場を中心とした訓練の実施 ・消防団排水機隊を中心とした訓練実施 ・水防団排水機隊による、排水機場排水ポンプ定期訓練及び定期点検を実施
	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善										
	・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保										
	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	・H28年度より操作講習会に参加	・H29年度より操作講習会に参加	・防災リーダーを対象に講習会を実施 ・引き続き、防災リーダーを対象に講習会を実施する	引き続き実施	・H29年度より操作講習会に参加	・国交省の災害対策用機器操作講習会に参加	・H29年度より操作講習会に参加 ・講習会に参加	・H29年度より操作講習会に参加	・H29年度より操作講習会に参加	・H29年度より操作講習会に参加 ・排水機隊を中心とした訓練の実施 ・消防団排水機隊を中心とした訓練実施
・水防団(消防団)によるポンプ操作訓練の実施	【実施済み】引き続き実施 定期的なポンプ操作訓練の実施	・順次実施 ・各部署単位による定期的なポンプ操作訓練実施	・操作訓練の実施 ・引き続き、操作訓練の実施を行う	引き続き実施	【実施済み】引き続き実施 ・消防団によるポンプ操作訓練の実施	【実施済み】 引き続き実施 ・消防団によるポンプ操作訓練大会を開催した。 ・大会は各年開催だが、自主的にポンプ操作訓練実施	【実施済み】 引き続き実施する ・操作説明を実施。継続実施予定	・8月21日に開催された県のポンプ操作大会に代表が出席。 ・ポンプ操作大会実施	・平成28年度、山梨県操法訓練大会優勝(笛吹市消防団石和分団) ・消防団排水機隊を中心とした訓練実施 ・水防団排水機隊による、排水機場排水ポンプ定期訓練及び定期点検を実施		

④基盤: 河川管理施設等の整備等に関する事項(基盤等ハード整備に関する事項)										
項目	重岡市	甲斐市	南アルプス市	昭和町	中央市	市川三郷町	富士川町	甲州市	山梨市	笛吹市
堤防及び護施設の整備・機能確保等	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備									
	・浸食洗堀対策としての築堤・護岸の整備									
	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)									
	・当面堤防整備が出来ない区間の表土の補強(危機管理型ハード対策)									

①避難:円滑かつ迅速な避難のための取組

項目	甲府市	身延町	南都町	富士宮市	富士市	静岡市	山梨県	静岡県	気象庁	国土交通省	
逃げ遅れゼロに向けた実施機関の協働・支援等	・河川管理者から自治体への情報提供の充実を図るため、避難勧告の発令に備えたチェックリスト・タイムラインを活用した訓練・見直し及び支援	【実施済み】 ・引き続き実施 ・平成29年7月タイムライン図上訓練に参加	・職員災害対策本部運営図上訓練を実施し、タイムラインほかのマニュアルの内容見直しを検討した。 ・職員災害対策本部運営図上訓練で検討された見直し箇所は、随時修正を行っている。	・自主防災会等を対象とした図上訓練の実施	【訓練】 ・順次実施 ・平成29年7月、甲府河川国道事務所主催、タイムライン図上訓練に参加 ・タイムラインに沿った災害対応の実施と検証、随時見直しの実施。	・平成29年7月のタイムライン図上訓練に参加。 ・タイムラインに沿った災害対応の実施と検証、随時見直しの実施。	【実施済み】 ・タイムライン運用時に毎回見直しを実施 ・見直しを実施	・7月14日国土交通省主催の図上訓練に参加 ・引き続き実施	（県内市町からチェックリスト・タイムラインの訓練の要請を受けた際は協力） 市町からの要請に基づき訓練支援	・市町からの要請に基づきタイムラインの作成について引き続き支援	・H29.7.14 想定最大規模を対象としたタイムライン図上訓練を実施（流域14市町、38名が参加）
	・避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認（タイムライン）	・引き続き実施	・多機能連携型タイムラインの勉強会へ参加予定 ・避難勧告等発令の対象区域、判断基準の見直しを引き続き行う。	・引き続き実施	・避難勧告等発令の対象区域、判断基準の見直しを実施した。	・タイムラインに沿った災害対応の実施と検証、随時見直しの実施。	【実施済み】	・洪水対応訓練の実施予定 ・引き続き実施	市町からの要請事案なし	・自治体洪水対応資料の再認識してもらうために協議会等で周知し、各自治体で更新していただきたい旨伝える予定 ・避難勧告の発令基準の見直し支援として、洪水対応訓練を実施し、見直しすべき課題を明確にした。	
	・ハザードマップの改良、周知、活用	・引き続き実施 ・住民1人1人が避難のタイミングや避難先を事前に整理しておく「マイ・タイムライン」を作成できるよう、支援を開始した。	・令和2年3月にハザードマップを作成、公開 ・令和2年4月に全戸配布を行った。	・R1年度末配布済	・引き続き、SNSによる住民へのハザードマップの周知を実施した。	・想定最大規模洪水の浸水想定区域図を市ウェブサイト(ふじのくに)で公開済 ・ハザードマップ作成	・地域包括支援センター29施設を対象とした研修の実施 ・ハザードマップの配布 ・R2.3 市内全域をカバーする防災マップを作成(4.5万部) 【実施済み】	・県政出張講座等での水害・土砂災害リスクに関する情報提供 ・市町へのヒアリングを実施し情報提供・助言			・水害リスクについて情報提供した。 ・幹事会で事例を紹介した。
	・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進	・自治会ごとのハザードマップの作成、設置支援の実施 ・住民1人1人が避難のタイミングや避難先を事前に整理しておく「マイ・タイムライン」を作成できるよう、支援を開始した。	・マイタイムラインの事例を収集し、住民個々が避難計画や情報マップを作成できるように支援している。	・引き続き研修機会があれば積極的に参加する ・Zoom会議などで積極的に参加した	・引き続きマイタイムラインを作成する場を検討した。	・ハザードマップの学習画として作成	・静岡市版マイタイムラインの作成(R1.10)及び研修会の実施(3回) ・順次実施	・県政出張講座等での水害・土砂災害リスクに関する情報提供	マイ・タイムライン研修会の実施		・避難特性カルテの作成 ・自治体等へマイ・タイムラインの作成支援ツールの事例を幹事会で情報提供 ・防災担当者向けに作成ツールを体験する防災担当者研修を実施した。
	・地域減災ハザードマップ作成事業の実施	【着手済み】 ・自治会からの要請に基づき年間を通じ実施している。 ・市内342自治会に対し防災マップ等の作成支援を実施 ・新たな洪水ハザードマップの作成に伴い、防災マップの見直し等の支援を行う。	・平成28年12月11日、上之平地区を対象に、県民の方と実施 ・引き続き実施 ・引き続き実施の検討 ・個別に活用できるハザードマップを作成、出水情報までに配布予定 ・各世帯ごとのハザードマップ作成を周知している。	【県政出張講座にて実施済み】 ・引き続き実施 ・自主防災会を対象とした図上訓練（防災マップ作り等）などを通して、地域ごとのハザードマップを作成し、防災意識の高揚を図る。 ・R1年度ハザードマップにて各地区別に作成済	【整備済み】 ・引き続き実施 ・豪雨災害における避難についての注意事項・データ放送の受信方法等を掲載した防災マップの作成、全戸配布、ホームページへの掲載						
	・災害リスクの現地表示	・引き続き実施 ・洪水ハザードマップの見直しのための準備を行った。	・災害リスクを掲示した避難所看板を設置	・次年度も予算が確保できれば実施したい ・必要性があれば予算要求する	・引き続きまるとまことハザードマップの作成を検討した。	・浸水区域内の指定緊急避難場所表示看板の記載内容見直し	【実施済み】 ・順次実施	・市町へのヒアリングを実施し情報提供・助言	・電柱を活用した土砂災害防止啓発電柱広告の設置に向けた協定を締結(R2.11.11)		・まるとまことハザードマップの実施効果や有効性について幹事会の場を活用し共有 ・本会より、手引き「取扱ポイント」の配布の後、協議会において周知共有した。
防災・気象情報等の配信方法の充実・精度向上等	・広域避難に関する調整、避難経路の検討及び支援	・新たな浸水想定区域図発表後に着手 ・新たな洪水ハザードマップの作成に伴い、広域避難に関する検討を行う ・山梨県が開催する検討会に出席するなど、広域避難に関する検討を行った。	・引き続き検討をする ・広域避難についての研修会に参加した。計画書の作成は令和4年度を予定している。	・平成25年度実施済み ・今後も定期的にCDIG訓練等を実施して、災害種別ごとの避難先や避難経路の検討を自主防災会に行い、地域住民の防災意識の高揚を図る。 ・平成30年6月に自主防災会等を対象とした図上訓練にて実施予定 ・避難判断基準等検討支援システムを活用し、避難計画・避難経路の検討	【整備済み】 ・引き続き実施 ・避難判断基準等検討支援システムを活用し、避難計画・避難経路の検討	・浸水想定区域が確定・公表され次第再検討実施。 ・隣接市と協議したが、現時点での必要性はないとの結論に至った。なお、富士川の想定浸水区域の予測は市域の1%未満に過ぎないため、本市から市域外への避難は想定していない。 （現時点では必要性なし） ・実施済み	【着手済み】 ・国ともに支援を行っていく ・引き続き実施 ・広域避難検討会の実施	・県内市町から広域避難に関する調整、避難経路の検討の要請を受けた際は協力	【実施済み】 ・引き続き支援 ・避難勧告等の判断・伝達マニュアル策定について引き続き支援 ・広域避難検討会出席「防災気象情報の伝え方」について説明する	【システム更新】 ・浸水想定区域図の見直しに伴うシステム更新を実施（必要に応じて更新継続） ・H30.10.24、H30.11.28に中央市及び昭和町をモデルとした広域避難検討会出席「防災気象情報の伝え方」について説明する	
	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び促進	【着手済み】 ・新たに対象となる施設(111施設)に、避難確保計画の作成について周知を行う ・新たなハザードマップ受取に伴い、既に作成済みの施設(最大浸水深の改定)および新たに浸水想定区域内に該当となった施設すべてに、改めて調査を実施。 ・未提出の施設に対し、引き続き、避難確保計画の提出を依頼していく。 ・水害に特化した避難訓練の実施については未確認。	・引き続き促進する ・入所者の避難訓練実施 ・令和2年度の地域防災計画修正に伴い要配慮者利用施設の掲載見直しを行い、対象となる施設に作成の依頼を行った。今後は訓練の実施もお願している。	・今後も引き続き訓練を実施 ・避難計画作成及び訓練の促進	【整備済み】 ・引き続き実施 ・平成29年度着手 ・平成30年4月完成予定 ・要配慮者利用施設の訓練の促進	・施設の避難計画の作成促進は行っているが、富士川ハザードマップ更新後に改めて徹底する ・庁内関係部署と連携し、避難計画作成が必要な施設数を把握した。 ・対象施設に対して避難計画の作成を依頼	・対象施設に計画策定通知、順次説明会実施 ・情報伝達訓練実施 ・施設所管課と説明会実施 ・ハザードマップ活用説明会実施				
	・「富士川水系情報提供システム」による河川情報の提供										・引き続き実施 ・情報提供中
	・危険度の的確な把握及び自治体の避難判断に資する富士川水系情報提供システム表示の整備										・簡易水位計設置済み、システム反映済み、自治体支援についても簡易水位計設置済み、EB表示カメラ表示で情報提供済み
	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警戒級の現象」等の改良										・平成28年5月から土砂災害警戒判定メッシュ情報の表示の改善を実施。 ・平成29年7月4日より浸水害、洪水の危険度分布開始 ・「危険度の色分け」や「早期注意情報」を防災情報提供システム、気象台(気象庁)ホームページにより情報提供を実施。 ・大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報等の防災気象情報に、内閣府「避難勧告等に関するガイドライン」に基づく警戒レベルの付記を開始。 ・気象台(気象庁)ホームページをリニューアルして、地域に発表している防災気象情報を見やすくした。
	・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理	・警戒レベルに合わせた避難情報の発表文案の確認を検討する。 ・改定したハザードマップに警戒レベルに関するチラシを挟み込んで配布し、警戒レベルについて周知を行った。	・広報やハザードマップで周知 ・引き続き定期的に警戒レベルについての周知を行っている。	・令和元年度実施済み ・引き続き実施	・引き続き警戒レベルを住民へ周知	・広報誌や防災講座にて周知を行った。	【実施済み】 引き続き実施	・警戒レベルを住民へ周知 ・警戒レベルを用いた緊急連絡メールの配信システムを運用	・水位周知河川の水位到達情報文へ警戒レベルの記載完了 ・土砂災害警戒情報発表基準の見直し、システムの改良 ・土砂災害警戒情報補足情報システムの多言語化	・洪水予報文に相当する警戒レベルを記載して発表	・危険度レベル(警戒レベル)の統一化によるシステムの改善を行った
・PCスマートフォン等で河川画像を配信、SNSを利用した防災・気象情報の配信	【整備済み】 ・防災無線放送、甲府市防災防犯メールマガジン等による情報を提供している ・必要に応じて、HPに防災情報の特設ページを設け、注意喚起や防災情報を配信し、関係機関等のリンクも用意し、随時更新を実施。 ・今までの情報発信ツールに加え、防災アプリ及び防災ポータルでの情報発信を実施。 ・防災研修会等で情報提供システムの利用者促進を図った。	・台風接近時にホームページを災害用に切替る。HPへの動き等の災害情報提供については、掲載手順を調整済み(平成29年出水期にはHPでの避難情報の提示可能) ・災害の発生または発生するおそれのある場合に、町HP・SNSに動き等の災害情報の掲載を行う ・引き続き実施	・リンク貼り付け実施済み。 ・HPへの動き等の災害情報提供については、掲載手順を調整済み(平成29年出水期にはHPでの避難情報の提示可能) ・災害の発生または発生するおそれのある場合に、町HP・SNSに動き等の災害情報の掲載を行う ・引き続き実施	【整備済み】 引き続き実施 ・台風等発生時にHPへ台風情報等について掲載。	・引き続き実施 ・防災情報メール、富士市ウェブサイトでの防災気象情報の提供、コミュニティFM局からの臨時放送体制を確保し継続中。	【実施済み】 引き続き実施	【着手済み】 引き続き実施 ・整備済みシステムの維持	・サイボスリーダー(静岡県土木総合防災情報システム)による情報提供を実施 ・デジタル放送による情報提供 ・サイボスリーダーに気象庁の洪水危険度分布を登録 ・土砂災害警戒情報補足情報システムのスマートフォン版の開設 ・水害リスクや避難方法をテーマとした動画の配信	【実施済み】 引き続き支援 ・防災情報提供システム、気象台(気象庁)ホームページによる情報提供を引き続き実施 ・令和元年10月4日から気象庁防災情報Twitterアカウント(@JMA.bousai)を開設し、気象災害関連の情報を発信している。 ・2月29日より甲府地方気象台twitterを開始	・川の防災情報による情報提供 引き続き実施 ・洪水予報等をプッシュ型で提供するためのシステムの構築完了 5月1日提供開始(富士川・釜無川)	
・ICT等を活用した洪水情報の提供	・情報提供システムで住民への周知 ・防災アプリ、メールマガジン、HP等あらゆる伝達手段を活用し、情報を発信	・町ホームページを災害用に切替時、情報提供システムを周知 ・引き続き情報提供システムを活用した防災行動の周知を行う。	・引き続き検討	・情報提供システムの住民への周知した	・ハザードマップの学習画を作成	【実施済み】	・緊急連絡メール、危機管理型水位計の整備 ・簡易型河川監視カメラの運用開始	・県庁見学、県HPで周知 ・サイボスリーダーに気象庁の洪水危険度分布を登録 ・水害リスクや避難方法をテーマとした動画の配信		・情報提供システムを活用した防災行動の確認 ・河川監視カメラ画像等を活用したリアルタイムのある河川情報の提供	
・洪水予測や河川水位の状況に関する解説	・住民へ水害の切迫性が効果的に伝わるように解説を行う ・住民へ、HP等を通じ、主要河川の水位情報の取得の仕方を説明する ・引き続き実施	・多機能連携型タイムラインの勉強会へ参加予定 ・住民へ、HP等を通じ、主要河川の水位情報において周知を実施。事前の周知以外の情報提供を行っている。	・引き続き検討	・水害の切迫性が効果的に伝わる解説の確認をした	・ハザードマップの学習画を作成	【実施済み】	・NHKと協力体制を構築 ・引き続き実施	・サイボスリーダーにて情報提供 ・サイボスリーダーに気象庁の洪水危険度分布を登録 ・水害リスクや避難方法をテーマとした動画の配信		・河川情報等に関する体制や解説を洪水対応演習時に実施 ・リアルタイムの状況をテレビやラジオ等のメディアで解説を行った	
・洪水予測や水位情報の提供の強化	・水害リスクラインで提供される情報の把握 ・情報提供システムを住民へ周知 ・引き続き実施	・町ホームページを災害用に切替時、情報提供システムを周知 ・引き続き情報提供システムを活用した防災行動の周知を行う。	・引き続き検討	・情報提供システムを住民へ周知した	・ハザードマップの学習画を作成	【実施済み】	・危機管理型水位計の整備 ・出水実績に基づきデータ収集 ・簡易型河川監視カメラの運用開始	・県庁見学、県HPで周知 ・サイボスリーダーに気象庁の洪水危険度分布を登録 ・水害リスクや避難方法をテーマとした動画の配信		・浸水や停電のおそれがある水文観測所や既存河川監視カメラ等において、浸水・停電対策を実施	
・洪水予報文の改良							【着手済み】 引き続き実施 ・基準水位等の検討実施			・平成27年度に実施済み 完了(H27年度)	

①避難:円滑かつ迅速な避難のための取組											
項目	甲府市	身延町	南都町	富士宮市	富士市	静岡市	山梨県	静岡県	気象庁	国土交通省	
セミナー・防災教育・訓練・計画策定等	【着手済み】 ・引き続き実施 ・小中学生を対象とした水災害教育の実施 ・出前講座を活用した講習会の実施	【実施時期、内容の検討】 ・引き続き実施の検討 ・各学校において、生徒に対する防災教育を定期的に実施 ・防災専門員による防災教育を実施した	・今後、訓練内容等を検討し実施 ・平成29年8月南都中学校にて防災備蓄品の確認と資機材の使い方に係る防災教育を実施 ・学校の防災訓練実施時期に合わせて教育を実施 ・防災の一環として職員が小学校に出前出張講座を実施した	【着手済み】 ・出水期後、学校・自治会からの要請により実施 ・平成29年10月、北山区自主防災会を対象とした風水害の出前講座を実施 ・H30.9.20、内房小学校6年生に風水害出前講座を実施 ・今後も必要に応じて実施していく	・未実施 ・吉原北中学校CDIGの実施 ・ハザードマップの学習面を作成	【実施済み】 ・引き続き実施 ・市内小学校の総合学習事業の中で、40件程度実施の見込み ・静岡市水交遊資料館の活用による水防教育を実施(通年、イベントは11月から12月に実施) ・風水害に関する出前講座の実施(107回)	【着手済み】 ・引き続き実施 ・平成29年7月4日若草小学校で実施の他、各建設事務所等実施 ・平成30年6月14日南瀬小学校で実施の他、各建設事務所等実施 ・令和元年6月12日祝小学校で実施の他、各建設事務所等実施 ・防災教育体制の強化	・県庁見学会を実施(随時) ・ものづくりフェスタ2016IN(ずおかにて「静岡県土木総合防災情報システム(サイボス)」の広報活動を実施(H28.9.2) ・県庁見学会等で水害教育等の実施(58回・3,168人) ・イベントにおいて沼川、酒井川、小瀬井川のL2浸水測定区域図を展示 ・水害リスクや避難方法をテーマとした動画の配信 ・県庁見学会等で水害教育等の実施 ・水害リスクや避難方法をテーマとした動画の配信	・教師向け研修の一環として県教育庁主催会議で講演を行った ・学校防災教育用のCDを作成し、県内の小学校へ配布 ・9月24日に北杜市の中学校で出前講座実施 ・アメダスを設置している学校へ防災教育の説明を行った ・11月13日に甲州市、11月30日に北杜市の自治体主催の子供向けイベントにブース出展し、気象や地震の解説などを実施 ・11月13日に北杜市の自治体主催の子供向けイベントにブース出展し、気象や地震の解説などを実施	・市川三郷町の市民の「減災いちかわみさと」の場で出前講座を開催 ・H29.9.25 中央市立玉穂中学校出前講座 ・H29.12 南アルプス市立小学校公開授業の支援 ・H30.8.20 山梨県主催の会議で水害・土砂災害への備えに関して講演 ・H30.9.27 中央市立玉穂中学校出前講座 ・必要に応じて引き続き実施	
	・防災教育の促進	・市内の公立小中学校生徒・児童等を対象とした防災教室や自治会や外国人留学生等に対する防災講習会を実施 ・甲府市防災リーダー養成講座などの防災研修会を実施した。	・令和元年11月実施	・防災学習ツールや事例の提供をした	・避難計画の作成支援ウェブページを作成し、施設に活用を案内	・出前講座等実施 ・小中高校授業、大学講義、教員免許更新研修等の実施	・防災力向上テキストを作成し、県内小学校の新一年生に配布 ・防災力向上テキストの活用を周知			・小中学校を対象とした防災学習教材の提供 ・必要に応じて出前講座の実施	
	・避難訓練への地域住民の参加促進	・住民参加型の総合防災訓練や地区会場訓練等を実施 ・水害を想定した総合防災訓練を実施した。	・令和元年9月、防災訓練の際に避難訓練と併せて、1地区を選定して避難所運営訓練を実施 ・1地区を選定してコロナウイルス感染予防を考慮した避難所開設訓練を実施した。	・実施済み	・住民参加型の避難訓練の検討をした	・ハザードマップの学習面を作成	【実施済み】 風水害情報伝達訓練実施(6月)	順次実施		・住民等が参加する水防訓練の企画 ・実施状況や工夫点等を協議会等で共有した	
	・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	・平成28年3月、ICT-BCPにより、発災時の機能移転を盛り込む。 ・平成30年度中にBCP計画策定予定。 ・身延町業務継続計画を平成30年度内に策定 ・庁舎等の機能確保を盛り込む ・令和元年9月、災害対策本部運営向上訓練を実施 ・職員初動マニュアルの修正を実施	・平成29年度にBCPの策定を予定 ・施設の機能確保(自家発電設備等)については、今後検討 ・平成30年までにBCP計画策定予定 ・身延町業務継続計画を平成30年度内に策定 ・庁舎等の機能確保を盛り込む ・令和元年9月、災害対策本部運営向上訓練を実施 ・職員初動マニュアルの修正を実施							未実施 各施設の周辺状況を調査継続中	
②水防:的確な水防活動のための取組											
項目	甲府市	身延町	南都町	富士宮市	富士市	静岡市	山梨県	静岡県	気象庁	国土交通省	
点検強化	【着手済み】 ・土のうを配備 ・甲府市水防計画に基づき、蓋19,000個を含む複数の水防資機材を準備し、水害に備えた。	・土のう袋の入れ替えを実施 ・土のう袋を追加購入し、水防団へ配布。	・資機材については、防災計画改定時に状況把握を実施済み ・不足資機材等の配備については今後検討 ・平成25年度中に配備完了(不足が生じれば速やかに補充) ・南都町地域防災計画を改訂し、資材・器具の必要数を明記した。 ・R2年度は不足が生じなかったため、備蓄はしていないが、実年度以降補充が生じた場合は、予算要求の検討をする	【着手済み】 ・引き続き実施 ・平成29年6月、水防計画に基づく水防資機材の配備完了(不足が生じれば速やかに補充) ・水防資機材の確認・補充を行う		・配備完了済(不足が生じれば速やかに補充)	【着手済み】 ・引き続き計画的に補充を進めた				
体制確保	・水防活動の担い手となる水防団(消防団)員の確保。また、水防協力団体の募集・指定の促進	【実施済み】 ・引き続き実施 ・各種イベント時の募集啓発活動を継続して実施。その他、広報こうふ・市ホームページで入団促進に関する広報を実施	【消防団協力事業所について平成28年度4箇所実施】 ・引き続き実施 ・消防団協力事業所表示制度の促進(通年) ・平成30年4月から、機動別消防団制度を策定 ・令和2年度より消防団サポーター事業所制度を導入した。引き続き様々な施策で消防団員の確保に努める	【着手済み】 ・引き続き実施 ・年間を通じ、市役所1Fロビーにて消防団(水防団)入団促進DVDを上映している。また、入団促進の冊子を市内各公共施設で配布している。	・平成29年4月28日に富士川右岸水防分団を結団 ・引き続き、水防団員の確保を行う。	【実施済み】 ・引き続き実施					
	・水防関係者間での連携、協力に関する検討	・引き続き実施	・河川管理者との連携強化、台風19号ではエンジンを受入(避難指示等の指示を順次) ・甲府地方気象台と令和2年度の水害について振り返りを行った。引き続き実施する	・河川管理者との連携強化	富士市建設業組合に水防訓練への参加を依頼する等、その後の協力体制構築の準備を行う。	・減災協議会・関連会議に参加 ・水防計画の再検討 ・重要水防箇所点検(6/21.28) ・水防計画修正	・減災協議会等で情報共有 ・引き続き実施			・出水期における水防活動等について水防関係者間で振り返りを実施	
③排水:氾濫水の排水、浸水被害軽減等に関する取組											
項目	甲府市	身延町	南都町	富士宮市	富士市	静岡市	山梨県	静岡県	気象庁	国土交通省	
実践強化	・排水機、樋門、水門の操作情報の共有。内水排除施設及び排水ポンプ車の運用・配置シミュレーション訓練	【実施済み】 ・水門の操作訓練予定 ・引き続き実施	・西嶋地区にある排水機場の操作講習を、地元水防団(消防団)に対し実施 ・水防講習会に職員参加 ・引き続き水防講習会や排水機場の操作講習会を実施する	・今後も引き続き実施 ・町職員間での設置場所の共有、操作説明会への参加 ・訓練への参加	【着手済み】 ・引き続き実施 ・樋門操作員と国土交通省、市で毎月操作訓練を行っている。	【実施済み】 ・引き続き実施 ・H30.5月訓練実施予定	【実施済み】 ・引き続き実施 ・H30.5月訓練実施予定	【着手済み】 ・引き続き実施 ・改修中の間門川について検討中	・県管理河川を排水先とした場合、計画書補完等の情報提供		・引き続き実施 ・排水ポンプ車の運用配置の追加ブロックの検討(継続)
	・排水施設、排水資機材の運用方法の改善									・長期にわたり浸水が継続する地域などにおいて、排水作業準備計画を作成、更新	
	・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保									・樋門・水門等の停電対策を順次実施	
	・排水ポンプ車等、災害対応による機器の操作講習会の実施	・H29年度より操作講習会に参加	・操作講習会に参加 ・水防講習会に職員参加予定 ・引き続き水防講習会に参加する	・操作講習会に参加 ・訓練への参加	・H29年度より操作講習会に参加	・H29年度より操作講習会に参加 ・災害対策車両操作訓練に参加	・H29年度より操作講習会に参加 ・静岡河川事務所・静岡国道事務所工事主催の操作講習会に参加 ・災害対策用機械操作訓練に参加(R2.2.5)	・H29年度より操作講習会に参加 ・災害対策機器操作講習会に参加予定 ・引き続き実施	・H29年度より操作講習会に参加 ・県管理河川を排水先とした場合、訓練に参加	・H29年度より操作講習会に参加	・H29年度より操作講習会に参加 ・災害対策用機器操作講習会を開催 ・排水作業準備計画の内容を踏まえての実施を検討 ・引き続き開催予定
・水防団(消防団)によるポンプ操作訓練の実施	【実施済み】 ・引き続き実施 ・年間を通じてポンプ操作訓練を実施	・西嶋地区にある排水機場の操作講習を、地元水防団(消防団)に対し実施 ・西嶋排水機場の操作講習を、保守業者を交え実施。 ・引き続き排水機場の操作講習会を実施する	訓練の実施を検討 水防団(消防団)による排水訓練を毎年実施 訓練の実施を検討 訓練の実施を検討 R3年3月消防団各部署実施	【着手済み】 ・引き続き実施 ・平成30年6月に、富士宮市水防訓練により実施予定 ・次年度の水防訓練に向け実施内容の検討を行う。 ・令和2年6月に水防訓練を実施予定。	【実施済み】 ・引き続き実施 ・引き続き実施						
④基盤:河川管理施設等の整備等に関する事項(基盤等ハード整備に関する事項)											
項目	甲府市	身延町	南都町	富士宮市	富士市	静岡市	山梨県	静岡県	気象庁	国土交通省	
堤防及び護施設の整備・機能確保等	・流下能力対策としての築堤・護岸の整備							【流下能力向上対策】については、予定延長の一部が完了予定		・予定延長に対して一部完了予定	
	・浸食洗堀対策としての築堤・護岸の整備							・沼川や酒井川などで浸食工事を実施 ・小瀬井川の河道拡幅(津田橋架け替え)に着手 ・洪水能力向上対策等を実施 ・小瀬井川の半田橋架け替え完了			
	・当面堤防整備が出来ない区間の堤防天端の保護(危機管理型ハード対策)									・設計実施 ・予定延長に対して一部完了予定	
	・当面堤防整備が出来ない区間の表法尻の補強(危機管理型ハード対策)									・予定延長に対して一部完了予定 ・天保保護工(H29.8)完了	
										・裏法尻の補強設計完了 ・0.51km完了(残りはH32年度) ・残り区間について補強完了予定	